

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	日常の会話で聞き取っている利用者の意向や要望について、「気づきシート」等を活用し利用者の発言等を記録・集積・共有した上で利用者の楽しみや暮らし方の思いを把握を行なっていきたい	個別ケアに取り組む。職員が気づいた事をすぐに記録できるような活用しやすい気づきノートを作成する	・ヘルパー職員で担当を決め個別的にケアプランの目標に沿った支援が行なえる ・気づきシートを作り活用しその内容を活かしたケアプランを作成し個別ケアに取り組む	6ヶ月
2	2	地域との連携や働きかけは積極的に取り組んでいるが外部やボランティアの訪問が少ない。地域で必要とされる活動や役割を担い、外部の協力も得ながら、取り組みたい	ボランティアの受入に積極的に取り組む。地域の方にグループホームやよいを理解してもらい訪問や相談がしやすい環境作りを行なう	・地域の方やボランティア機関を通じボランティアの受入を行なえる体制づくりを行い、利用者様に楽しみをもってもらう ・地域包括支援センターと協同し、介護予防連続講座を継続して取り組むとともに地域住民に介護への取り組みに対して協力できる機関として役割を担えるよう相談や訪問ができる環境を整える	3ヶ月
3	33	看取りについて今後も積極的に取り組んでいきたい	看取りについての研修を年間研修計画に定期的に取り入れ、職員の知識を深める。	・定期的に看取りについての研修を行なう ・看取り支援を実施するケースに直面した際は利用者の疾患、看取りケアについての方針を看護師、主治医とカンファレンスを通じて定め、疾患等について研修を行ないその人にあった看取りを行なえるように取り組む	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。